

モロッコ

Kingdom of Morocco

	2013年	2014年	2015年
①人口：3,385万人（2014年）			
②面積：44万6,550km ²			
③1人当たりGDP：3,079米ドル (2015年)			
④実質GDP成長率（%）	4.5	2.6	4.5
⑤消費者物価上昇率（%）	1.9	0.4	1.6
⑥失業率（%）	9.2	9.9	9.7
⑦貿易収支（100万米ドル）	△22,391	△20,504	△14,208
⑧経常収支（100万米ドル）	△8,973	△6,194	△2,228
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	18,197	19,672	22,254
⑩対外債務残高（グロス）（100万モ ロッコ・ディルハム）	234,746	278,071	300,826
⑪為替レート（1米ドルにつき、モ ロッコ・ディルハム、期中平均）	7.71	8.45	9.80

〔注〕⑦⑧の2014年、③④⑦⑧の2015年は暫定値。④は2007年基準。⑦は国際収支ベース（財のみ）
〔出所〕①②④～⑥：モロッコ高等計画委員会、③⑨：IMF、⑦⑧：モロッコ為替局、⑩⑪：モロッコ中央銀行

農水産業の回復で再び成長軌道に

2015年のモロッコ経済は、農業分野が前年の2.2%減から12.8%増に急回復した結果、非農業分野が前年の2.5%増から1.9%増へと減速したにもかかわらず、実質GDP成長率は4.5%と、前年の2.6%から大きく改善した。同国の農水産業の生産動向は依然として経済成長に多大な影響を及ぼしている。

需要項目別では、民間最終消費支出の伸びが前年の3.5%から2.4%に減速した。国内総固定資本形成は2期連続のマイナス成長から一転して1.5%増加した。政府最終消費支出は1.9%増、うち政府系非営利機関の最終消費支出が8.5%と伸びており、景気を下支えたようだ。財貨・サービスの輸出は6.0%増、同輸入は3.1%減であった。

原油など資源安で貿易収支が大きく改善

2015年の貿易（通関ベース）は、輸出が前年比7.1%増の2,151億モロッコ・ディルハム（以下、MAD）、輸入は5.6%減の3,664億MADであった。前年に続き自動車関連品の輸出が順調に拡大した一方、原油価格の大幅な下落で原油や石油製品の調達コストが下がり輸入総額が減少したことから、貿易収支は大きく改善し、貿易赤字は19.2%減の1,513億MADとなった。

表1 モロッコの需要項目別実質GDP成長率

	（単位：%）		
	2013年	2014年	2015年
実質GDP成長率	4.5	2.6	4.5
民間最終消費支出	3.2	3.5	2.4
政府最終消費支出	4.2	1.8	1.9
国内総固定資本形成	△0.5	△2.1	1.5
財貨・サービスの輸出	0.0	8.4	6.0
財貨・サービスの輸入	△0.1	3.3	△3.1

〔注〕2015年は暫定値。
〔出所〕モロッコ高等計画委員会

輸出品目別では、モロッコの主要資源であるリン鉱石（世界の埋蔵量の4分の3を保有）やリン製品（リン肥料、リン酸液など）が全体の約2割を占める構図に変わりはない。これに対してワイヤーハーネス（構成比10.6%）や自動車（乗用車）（10.5%）など自動車関連品が同じく全体の2割を占めており、同国でリンと並ぶ主力輸出品に成長している。このほか、衣料品（9.3%）、タコ・イカ・貝類（2.8%）、イワシなどの加工品（2.3%）、トマト（生鮮・冷蔵、2.0%）が主要品目である。モロッコでは、ルノー・日産グループが北部のタンジェとカサブランカ近郊の2カ所の工場で「ダチア」ブランドの低価格車を生産、主に欧州市場に輸出している。ルノー・タンジェ工場は2015年12月に累計輸出台数が50万台に達したと発表した。2015年6月にはPSAグループ（旧PSAプジョー・シトロエン・グループ）が、モロッコ中部のケニトラ市近郊に完成車工場の設置を発表、2019年に操業を開始、中東アフリカ市場向けに年間9万台の低価格車を生産する計画である。モロッコでは、自動車板金、ワイヤーハーネス、内装品、バッテリー、燃料タンクや空調システムが生産されているが、PSAグループは新たにエンジン部品の生産も検討しており、実現すれば国内の自動車部品産業の強化につながる。

輸入は、石油製品、天然ガス、原油や石炭などの燃料関連が総額の17.3%を占め、次いで自動車・同部品（構成比8.9%）、小麦など穀類（3.7%）が続く。

国別では、前年同様に輸出を拡大させたスペイン（構成比22.7%）がフランスを抑えて輸出入ともに最大の貿易相手国であった。スペインへの輸出額は前年比11.1%増の488億MAD、フランス（19.9%）は3.2%増の427億MADであり、この2カ国と輸出先上位10カ国に入る欧州諸国の合計はモロッコの輸出全体の5割超に達する。

表2 モロッコの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100万モロッコ・ディルハム、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2014年		2015年			2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
ワイヤーハーネス	20,360	22,824	10.6	12.1	石油製品	37,078	34,120	9.3	△8.0
自動車(乗用車)	18,122	22,576	10.5	24.6	自動車(乗用車)	13,829	15,540	4.2	12.4
衣料品	20,151	20,087	9.3	△0.3	天然ガス	19,215	13,169	3.6	△31.5
リン肥料	17,291	18,239	8.5	5.5	原油	28,288	10,937	3.0	△61.3
リン酸	12,781	16,083	7.5	25.8	ワイヤーハーネス	8,883	9,973	2.7	12.3
リン鉱石	8,203	9,979	4.6	21.7	小麦	12,696	8,551	2.3	△32.6
タコ・イカ・貝類	4,642	5,990	2.8	29.0	自動車部品(車体など)	8,664	7,270	2.0	△16.1
イワシなどの加工品	4,903	4,912	2.3	0.2	航空機および航空機部品	4,254	6,718	1.8	57.9
トマト(生鮮、冷蔵)	4,040	4,273	2.0	5.8	石炭および石炭製品	5,066	5,016	1.4	△1.0
半導体デバイス	4,264	3,945	1.8	△7.5	穀類(小麦を除く)	5,238	5,001	1.4	△4.5
合計(その他含む)	200,808	215,111	100.0	7.1	合計(その他含む)	388,080	366,365	100.0	△5.6

[注] 2014、15年とも暫定値。

[出所] モロッコ為替局

表3 モロッコの主要国・地域別輸出入<通関ベース>

(単位:100万モロッコ・ディルハム、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2014年		2015年			2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
スペイン (1)	43,894	48,782	22.7	11.1	スペイン (1)	51,765	50,979	13.9	△1.5
フランス (2)	41,404	42,734	19.9	3.2	フランス (2)	52,192	46,393	12.7	△11.1
イタリア (4)	8,593	9,522	4.4	10.8	中国 (3)	29,496	30,764	8.4	4.3
インド (5)	7,274	8,558	4.0	17.6	米国 (4)	26,970	23,780	6.5	△11.8
米国 (6)	7,188	7,533	3.5	4.8	ドイツ (6)	20,108	21,267	5.8	5.8
トルコ (10)	4,593	6,658	3.1	45.0	イタリア (7)	19,299	20,027	5.5	3.8
オランダ (9)	5,557	6,548	3.0	17.8	ロシア (8)	16,335	15,816	4.3	△3.2
ブラジル (3)	9,164	6,491	3.0	△29.2	トルコ (9)	14,096	15,491	4.2	9.9
英国 (7)	5,998	6,006	2.8	0.1	ポルトガル (13)	7,697	10,000	2.7	29.9
ドイツ (8)	5,722	5,564	2.6	△2.8	サウジアラビア (5)	21,082	9,689	2.6	△54.0
合計(その他含む)	200,808	215,111	100.0	7.1	合計(その他含む)	388,080	366,365	100.0	△5.6

[注] 2014、15年とも暫定値。国名の横のかっこ内数値は2014年順位。

[出所] モロッコ為替局

輸入では、スペイン(13.9%)が1.5%減の510億MAD、次いでフランス(12.7%)が11.1%減の464億MADとなった。輸入でも上位10カ国に欧州諸国が入り、全体の4割を占めている。また中国(8.4%)は4.3%増の308億MADと順調に増えた一方、米国(6.5%)は11.8%減少した。

■急増する中国からの投資

モロッコ為替局によると、2015年のモロッコの対内直接投資額(報告・届け出ベース、フロー)は前年比6.8%増の390億MADであった。産業別では前年同様、不動産業が最大(構成比27.0%)だったが、前年比で2.4%減少し105億MADとなった。シェア2位の製造業(21.9%)は13.7%減の85億MAD、前年3位であった観光業(5.9%)は32.6%の大幅減で23億MADであった。一方、通信業(7.7%)は15.7倍の30億MADを記録し3位となったほか、公共建設、持ち株会社、エネルギー・鉱業分野に投資が流入した。

国別ではフランスが前年比25.1%減の88億MADで

あったものの全体の22.6%を占め、過去5年を通じて常に最大投資国となっている。次いでアラブ首長国連邦(構成比16.8%)が45.2%増の66億MAD、米国(10.7%)が54.3%増の42億MAD、サウジアラビア(5.9%)が41.2%減の23億MADであった。中国は4億MADと少額であるが過去5年にわたって増加、2015年は1.9倍と大きく伸びた。2016年6月に国王モハメッド6世は中国を公式訪問、中国企業向けの工業団地設立など15の覚書が締結された。

■第4回日本・アラブ経済フォーラムを開催

日本の「貿易統計(通関ベース)」によれば、2015年の対モロッコ貿易は、輸出が前年比8.5%増の2億5,900万ドル、輸入が6.4%増の2億6,200万ドルだった。これにより日本の貿易赤字は57.5%減の340万ドルと前年に続き大幅に改善した。日本の最大輸出品目は自動車で、全体の54.6%を占める。最大輸入品目は魚介類で59.1%を占めている。

日本の2015年の対モロッコ投資額は8,100万MADであり、過去5年で最高額を記録した。しかし他国と比べて依然として低い水準であり、投資協定および租税条約が締結されていないことが一因と指摘されている。2016年5月にはモロッコが受け入れ国となり、第4回日本・アラブ経済フォーラムがカサブランカで開催され、日本からは林幹雄経済産業相、武藤容治外務副大臣、経団連ほか日本企業関係者約300人が参加した。同フォーラムで両国のビジネス交流の深化への期待が高まり、ビジネス環境整備に向けた取り組みが進み始めている。